

草津市ワークショップの実施について

実施目的

1. 市民意見の収集、取組拡大に向けたアイデアを得る

ワークショップは市民に対して直接働きかけを行い、多様な市民の声を収集する、貴重な意見交換の機会です。今後の取組を広げていくうえでのアイデア等、アンケートの選択肢からは汲取れない声を聞く機会とします。施策全体または特定の施策について、どのようにしたら取組が広がるのか（何が課題となっているのか）、認知度が向上するか等について忌憚のない意見を得ます。

ワークショップで得られた意見は整理したうえで、審議会へ報告します。審議会では、これらの意見を踏まえながら協議を行い、その他の調査結果と合わせて、課題抽出や次期計画の施策検討等に生かしていきます。

2. 市のごみの現状・取組等の周知、啓発

市の現状を説明し、分別や減量に向けた取組の周知や情報の提供等を行い、啓発の一環とします。

実施時期

2月～3月

実施概要

◇実施回数：2回

・開催曜日・時間を異なる設定とし、幅広い参加者層からの意見を得る。

平日夜間（18：00～20：00）と休日午前（10：00～12：00）

◇時間：約120分

実施対象案

◇草津市民：各回20～30名程度（3～5グループ想定）

実施場所

◇草津市役所・アミカホール、UDCBK（南草津駅前）

実施テーマ案

- ・食品ごみを減らしてエコなライフスタイル～食品ロスワークショップ～
- ・ごみの少ないまちを目指す2Rワークショップ

スケジュール案

◇実施内容：2回とも同じ流れで実施

時間	概要
00:00~00:10	本日のスケジュール、主旨の説明
10分	進行(中外)：挨拶、当日のスケジュールを説明 市挨拶：ワークショップの主旨
00:10~00:25	解説！市のごみの現状について
15分	分別の状況やごみの排出量の推移や処理等について説明
00:25~00:35	クイズー正しい分別に分けてみよう！
10分	分別クイズを実施。実物・模擬ごみを事前にテーブルの上に準備しておき、制限時間内にグループで話し合い、正解と思う分別に分ける。
00:35~01:45	グループワーク
65分	想定される参加者の年齢層や計画案の進捗状況により、内容を検討。 はじめは、「分別やごみの出し方等について困っていること」といった身近で具体的なテーマを設定することで、意見が出やすいよう進める。
01:45~01:55	成果発表
10分	グループ毎に話し合った結果を発表
01:55~02:00	全体まとめ・挨拶
5分	市挨拶：挨拶 進行(中外)：閉会の挨拶

解説

◇解説項目（資料配布またはパワーポイントによるスライドによる説明）

- ・ごみの分別状況（ごみ組成調査結果から紹介）
- ・近年のごみ排出量、処理・処分量の推移
- ・ごみ処理費用の推移
- ・ごみ袋の制度について

分別クイズ

◇出題品目

- ・間違いが多いもの、収集側の視点で注意してほしいもの等から出題する。
- ・1グループ6～7個、グループ毎に品目が異なってもよい。
- ・できるだけ現物を準備。

グループワーク

◇一般の方が意見を出しやすいように、なるべく身近で具体的なテーマを設定する。

【テーマ候補】

- ・生ごみ削減のアイデア
- ・ごみを減らすために取り組むべきこと
- ・ごみ減量の取組を広げるための方法

◇ルール

話し合いのルール

- ・立場は忘れて、率直に意見を出しましょう
- ・相手の意見を否定しないようにしましょう
- ・自分と違う意見も尊重しましょう
- ・班内で意見を一つにまとめなくても大丈夫です

◇方法

- ①参加者は、付箋（大）に、意見（1枚につき意見は1つ）を自分で書き込み、各参加者がそれを説明しながら模造紙に貼る。
- ②意見をひとつおとり出し終わったら、追加で何かないか話し合う。
出た意見は参加者が付箋に書いて貼る。
- ③類似意見をまとめ、そこに見出しを付けて全体を整理する。
発表者を決める。
グループ別に発表。

※各グループのスムーズな進行のためスタッフ（中外）が同席。市職員も同席。（参加者の質疑に対応するため）